

CASBEE 広島 2016年版 (仮称)中特ビル 建築工事		■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2016年版 欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)				
スコアシート 実施設計段階						
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質						2.6
Q1 室内環境			0.40		-	3.0
1 音環境		3.0	0.15	3.2	1.00	3.1
1.1 室内騒音レベル	RCt=150 Lr45	3.0	0.49	3.0	0.50	
1.2 遮音		3.0	0.49	3.5	0.50	
1 開口部遮音性能		3.0	0.94	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能		3.0	0.06	4.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	4.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音		3.0	0.03	3.0	-	
2 温熱環境		3.0	0.35	3.1	1.00	3.1
2.1 室温制御	等級4を満たす	3.0	0.50	3.3	0.50	
1 室温		3.0	0.59	3.0	0.63	
2 外皮性能		3.0	0.36	4.0	0.38	
3 ゾーン別制御性		3.0	0.05	-	-	
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境		3.0	0.25	3.0	1.00	3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.50	3.0	0.50	
1 昼光率		3.0	0.60	3.0	0.50	
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策		3.0	0.50	3.0	0.50	
1 昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度		-	-	-	-	
3.4 照明制御		-	-	-	-	
4 空気質環境		3.0	0.25	3.0	1.00	3.0
4.1 発生源対策		3.0	0.59	3.0	0.63	
1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	1.00	
4.2 換気		3.0	0.39	3.0	0.38	
1 換気量		3.0	0.48	3.0	0.33	
2 自然換気性能		3.0	0.05	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.48	3.0	0.33	
4.3 運用管理		3.0	0.03	-	-	
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御		3.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	2.7
1 機能性		2.4	0.40	2.6	1.00	2.5
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性		-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.05	3.0	1.00	
3 バリアフリー計画		3.0	0.95	-	-	
1.2 心理性・快適性		1.1	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観		3.0	0.05	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		3.0	0.05	-	-	
3 内装計画		1.0	0.90	1.0	0.50	
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		2.8	0.30	-	-	2.8
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性		2.2	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		1.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		1.0	0.20	-	-	
3 電気設備		3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性		3.0	0.30	3.0	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり		3.0	0.04	3.0	0.50	
1	階高のゆとり	3.0	0.60	3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		3.0	0.04	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		3.0	0.91	-	-	
1	空調配管の更新性	3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性	3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性	3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保	3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	1.8
1 生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	4.1
1	建物外皮の熱負荷抑制	等級4を満たす	4.1	0.20	-	4.1
2	自然エネルギー利用		2.1	0.10	-	2.1
3	設備システムの高効率化	[BEI][BEIm]: 0.73	5.0	0.50	-	5.0
4	効率的運用		3.0	0.20	-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	0.15	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	
	集合住宅の評価		3.0	0.85	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	2.9
1 水資源保護		3.0	0.20	-	-	3.0
1.1	節水		3.0	0.40	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	
2 非再生性資源の使用量削減		3.0	0.60	-	-	3.0
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.10	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		2.7	0.20	-	-	2.7
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		2.6	0.70	-	
1	消火剤		2.0	0.33	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率に考慮	5.0	0.33	-	5.0
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	2.5
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	3.0
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	
2	振動		3.0	0.33	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	
3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	
3.3	光害の抑制		3.0	0.20	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	